

設置・設定説明書

EB-Z8455WU EB-Z8450WU EB-Z8355W EB-Z8350W EB-Z10005 EB-Z10000 EB-Z8150

マニュアル中の表示の意味

• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

▲ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
▲ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定さ れる内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例:【戻る】ボタン
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例: [画質調整]から[明るさ]を選びます。 [画質調整]-[明るさ]

1アル中の表示の意味 2
ιアル中の表示の意味

本編

安全に関わる警告・注意6
設置に関する警告・注意
使用に関する警告・注意9
施工前に(気になる項目をチェック)10基本動作に関する設定10覚えておくと便利な機能11リモコンに関する設定13表示に関する設定14設置に関する設定16接続に関する情報17輸送に関する情報18
準備する 19
無線LANユニットの取り付け
設置する 22
設置条件
リモコン
良く使うボタン

その他のホタワ 26 映像入力 26 映像操作 26 画面調整 27 その他 27 りモコンの操作可能範囲 27 リモコンの操作 27
電源オン/オフ時の注意 29
電源を入れる
設定する
IDの設定 30 プロジェクターIDを設定する 30 プロジェクターIDの確認方法 30 リモコンIDを設定する 30 時刻の設定 31 夏時間設定画面 31 ユーザーロゴの登録 33
映像を投写する 34
映像のゆがみを補正する
弓形補正 34 ポイント補正 34 投写映像のアスペクト比を切り替える 35 切り替え方法 35 マルチプロジェクション 38 準備 38 手順の流れ 38 表示倍率変更 41 映像のメンテナンス 42 液晶アライメント 42
弓形補正

パスワードプロテクトの設定方法	14 15
操作を制限する	15
操作ボタンロック	15
レンズ操作ロック	16
リモコンボタンロック	16
ネットワーク設定	8
ネットワーク設定の確認	18
無線LAN	18
準備	18
アドホック接続設定(かんたんモード)	18
インフラストラクチャー接続設定(マニュアルモード)	19
有線LAN	51
その他ネットワーク設定に関するメニュー一覧	52
セキュリティーメニュー	52
	55
	56
)/ - 1
SIMP//ーー) :1
) : `
)2
輸送時のご注意	4
近くへの移動	54
輸送する場合	54
	54
梱包と輸送の注意	54
インジケーターの見方	5
	-
1 ノノリーターの見り 山 インバケーターが赤色占灯/占減時	55
0 イノフクーターが小巴京川京城時	50
	,,
各部の名称と働き6	9
前面/上面	59
盗難防止用ロック	59
背面	71

インターフェイス	72 73
一般のご注意	74
商標と著作権について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74
お問い合わせ先	75



設置に関する警告・注意

<u> 警告</u>

屋外や風呂、シャワー室など、水や雨のかかるおそれのある場所、湿度の 高い場所で使用・設置しないでください。

火災・感電の原因となります。

<u> 注</u>意

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。上下に投写する際は、本機の転倒、落下を防ぐため、適切で不備のない設置を行ってください。

転倒、落下によるけがの原因となることがあります。

本製品は重いので、1人で運ばないでください。
 開梱や移動の際は2人以上で、ハンドル部分を持って運んでください。

注意

- 振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。
- 高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。正しく、動作しない場合があります。
- 以下の状態で投写しないでください。故障や事故の原因となります。







横向きに立てて投 写しない。

左右に傾けて投写 しない。

裏返して投写しない。

本機を傾けて投写するときは、規定以上の角度に傾けないでください。故障や事故の原因となります。

傾斜角度



上記以外の角度でお使いになると、故障や事故の原因となります。

- 必ず[設置角度]を設定してください。設定しないとランプの交換時期が 著しく早まる場合があります。
- 上下レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。

天吊りに関する警告・注意

<u> 注</u>意

プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油 などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原 因となります。

天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤 滑剤・油などを使用しないでください。

注意

- プロジェクターを床置き設置以外の方法で設置してお使いになるときは、 プロジェクターの固定は天吊り用ねじ穴の4個所を使用してください。ハンドルの取り外しは絶対にしないでください。取り外した状態で本機を使用すると故障の原因になることがあります。
- 本機を天吊り設置したときは、フットを外して同梱のフットカバーを取り 付けてください。



•フットは着脱式です。約10mm以上伸ばすと外れますので、ご注意ください。

フットを外した際は必ずフットカバーを取り付けてください。

フットを取り外した後のねじ穴をプロジェクターの固定に使用したり、他のねじ等を取り付けないでください。故障の原因になることがあります。

電源に関する警告・注意

\Lambda 警告

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
 指定外の電源電圧を使うと、火災・感電の原因となります。
- 漏電事故防止のため、接地接続(アース)を行ってください。
 アース線(接地線)を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを65cm以上地中に埋めたもの
 - 接地工事(第3種)を行っている接地端子

アース線の取り付け/取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

- •次のような場所にアース線を接続しないでください。
 - ガス管(引火や爆発の危険があります)
 - 電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量の電気が流れる 可能性があるため危険です)
 - 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません)
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、 接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って ください。

<u> 警</u>告

- 電源プラグの取り扱いには注意してください。
 取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。
 取り扱いの際には、次の点を守ってください。
 - たこ足配線はしない。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
 - 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。必ず、 プラグ本体を持って抜く。
- 破損した電源コードは、使用しないでください。 火災・感電の原因となります。

取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない。
- 電源コードの上に重いものを載せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。

電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはお問い合わせ先に記載のプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。

☞「お問い合わせ先」p.75

接続に関する警告・注意

注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。
- 電源コードと接続ケーブルを束ねるとノイズが出ることがあります。

レンズに関する警告・注意

注意

- レンズユニットは必要がないときは取り外さないでください。本機内部に ホコリやゴミが入りこむと投写品質の劣化や故障の原因となります。
- レンズユニットを交換する際は、あらかじめ電源をオフにしてから作業してください。
- レンズシフトを行っているときは、事前にシフト位置を中央に合わせてからレンズユニットを交換してください。
 - 「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.22
- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋 や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- 本機のレンズ挿入部を上に向けた状態でレンズユニットを装着しないでく ださい。ホコリやゴミが入る原因となります。
- 本機は必ずレンズユニットを装着した状態で保管してください。
 レンズユニットを外した状態で保管すると、本機内部にホコリやゴミが入り投写品質の劣化や故障の原因となります。

セキュリティーに関する警告・注意

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡 先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書 発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同 梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返 送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作 を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状 態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を 入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワー ドを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード:xxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。

● 「お問い合わせ先」 p.75

- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」
- 「お問い合わせ先」
 p.75

使用に関する警告・注意



- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 投写中はレンズをのぞかないでください。

<u> 注</u>意

投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

注意

• 温度が高すぎるところや、低すぎるところでは使用・保管しないでください。また、急激な温度変化も避けてください。

下記の動作温度範囲、保管温度範囲を守って使用・保管してください。

- 動作温度範囲0~+50℃*(結露しないこと)
- 保存温度範囲-10~+60℃(結露しないこと)
- ※ 標高0m~1500mの環境で、節電モードをモード2 に設定しているときは0~+50℃、オフに設定しているときは0~+45℃。 標高1500m~3048mの環境で、節電モードをモード2 に設定しているときは0~+45℃、オフに設定しているときは0~+40℃。 (節電モードの設定はEB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/ Z10005/Z1000のみ)

• フロントカバーは必ず取り付けて、使用してください。

基本動作に関する設定

気になる項目	答え
主電源のオン/オフまたはプロジェクターの電源プラグの抜き差しによって、投写を開始/終了したい。	ダイレクトパワーオン:[ダイレクトパワーオン]を[オン]に設定することで、自動で投写を開始できま す。(初期値:[オフ]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[ダイレクトパワーオン]》 ダイレクトシャットダウン:電源機構に組み込まれており、自動で投写を終了できます。
映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときは自動 で電源をオフになるようにしたい。	[スリープモード]を[オン]に設定します。(初期値:[オフ]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[スリープモード]》 スリープモードが動作するまでの時間は[スリープモード時間]で設定します。1分から30分の間で設定で きます。(初期値:[10分]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[スリープモード時間]》
標高1500m以上の場所で本機を使用したい。	[高地モード]を[オン]に設定します。(初期値:[オフ]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[高地モード]》
本機の電源をオン/オフしたときの「ピッ、ピッ」という 確認音を消したい。	[確認音]を[オフ]に設定します。(初期値:[オン]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[確認音]》
無線LANユニットを取り付けたい。	取り付け方法は「無線LANユニットの取り付け」をご覧ください。 ☞ p.19

覚えておくと便利な機能

施工前に(気になる項目をチェック)

気になる項目	答え
現在の設定を登録したい。	よく使う設定はメモリーとして登録し、必要なときにその設定を呼び出すことができます。メモリーとし で登録できる設定項目は以下の通りです。 ■質調整 ・すべての設定項目 映像 ・プログレッシブ変換 ・プレーム補間*1 ・超解像 ・ノイズリダクション モスキートNR HDMIビデオレベル SDIビデオレベル*1 表示倍率変更 ・オーバースキャン 設定 ・節電モード*2 拡張機能 ・明るさレベル*2 ・エッジブレンディング ・マルチスクリーン 設定方法は「取扱説明書」をご覧ください。
プロジェクターにセキュリティーを設定して、盗難や誤 操作を防止したい。	本機では以下の内容のセキュリティーを設定することができます。 利用者を管理する(パスワードプロテクト) ● p.44 パスワードプロテクトを設定すると以下のセキュリティーが設定されます。 ・電源投入時にパスワードの入力を要求する。 ・ユーザーロゴを保護する。 ・ネットワークの設定を保護する。 操作を制限する ● p.45 ・操作パネルのボタンをロックする。 ・レンズ操作用ボタンをロックする。 ・リモコンの一部のボタンをロックする。

※1 EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

※2 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z1000のみ

リモコンに関する設定

気になる項目	答え
よく使う環境設定メニューの項目を直接表示したい。	リモコンのユーザーボタンによく使う環境設定メニューを割り当てることができます。 🖝 p.27
プロジェクターを複数台並べて使用するとき、特定のプロジェクターのみ操作できるようにしたい。	プロジェクターとリモコンにIDを設定することで、IDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作す ることができます。 ☞ p.30

表示に関する設定

気になる項目	答え
メニュー表示の裏側の画面が見たいため、メニューの表 示位置を変更したい。	[メニュー表示位置]で変更します。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[メニュー表示位置]》
映像の表示遅延を低減したい。	[フレーム補間]*を[オフ]にする。(初期値:[標準]) 《【メニュー】ボタン→[映像]→[フレーム補問]》
ポイント補正の補正範囲は?	各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、上下方向に最大7画素、左右方向に最大32画素の範囲で補正できます。 設定方法は「取扱説明書」をご覧ください。
画素の色ずれを調整したい。	[液晶アライメント]を調整します。
映像を一時的に遮断(シャッター)して、聴衆を話しに集 中させたい、ファイルの切り替え操作などを見せないよ うにしたい。	リモコンの【シャッター】ボタンまたは操作パネルの【Shutter】ボタンを押すことで、画面の映像を遮断する ことができます。
複数台で迫力ある映像を投写したい。(マルチプロジェ クション)	ご使用する状況に合わせて以下より選んでください。 簡易的に投写したいとき [表示倍率変更]を調整します。 ● p.41 《【メニュー】ボタン→[映像]→[表示倍率変更]》 きれいに投写したいとき [エッジブレンディング]を調整します。 ● p.39 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[エッジブレンディング]》
コンピューターのアナログRGB信号入力時、画面位置が ずれる。	 [自動調整]を[オン]にすると、入力信号が切り替わったときに、トラッキング・同期・表示位置を最適な 状態に自動調整しますが、まれに、画面の表示位置がずれる場合があります。そのときは、[自動調整]を [オフ]にしてください。 • [自動調整]を[オフ]にした場合、一度接続した信号は記憶されます。 • [自動調整]の[オン]、[オフ]の設定は入力する映像に合わせて設定が必要です。 《【メニュー】ボタン→[映像]→[自動調整]》
映像の遮断(シャッター)を早く復帰させたい。	[シャッターボタン]を[ブランク]に設定します。(初期値:[電動シャッター]) ブランクは瞬時に画面の遮断/表示を切り替えることができますが、スクリーンに若干の光が投写されま す。 電動シャッターは光を完全に遮断しますが、画面の遮断/表示に数秒かかる場合があります。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[シャッターボタン]》

気になる項目	答え
入力ソースを切り替えたときのメッセージを投写画面に 表示させないようにしたい。	 [メッセージ表示]を[オフ]に設定します。(初期値:[オン]) 警告状態はインジケーターの表示で確認することができます。● p.66 操作や動作に関するダイアログや、ランプ交換勧告、Message Broadcastingの終了、プロジェクターIDは表示されます。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[メッセージ表示]》

※ EB-Z8455WU/Z8450WUのみ

設置に関する設定

気になる項目	答え
投写映像の位置を調整するときのコツは?	プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行ってください。
本機を傾けて設置したい。	[設置角度]を本機の傾きに合わせて設定します。(初期値:[正置き])☞ p.22 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設置角度]》
本機を天吊り設置するときの注意点は?	 プロジェクターの固定は天吊り用ねじ穴の4個所を使用してください。 ハンドルの取り外しは絶対にしないでください。取り外した状態で本機を使用すると故障の原因になる ことがあります。 フットを外して同梱のフットカバーを取り付けてください。フットを外した際は必ずフットカバーを取り付けてください。 フットを取り外した後のねじ穴をプロジェクターの固定に使用したり、他のねじ等を取り付けないでく ださい。故障の原因になることがあります。
周辺温度が高い環境で使用したい。	[節電モード]*を周辺温度に合わせて設定してください。 [オフ] 標高0m~1500m:0~+45℃(結露しないこと) 標高1500m~3048m:0~+40℃(結露しないこと) 通常の明るさで投写します。 [モード2] 標高0m~1500m:0~+50℃(結露しないこと) 標高1500m~3048m:0~+45℃(結露しないこと) 使用する環境に応じて明るさを自動的に切り替えます。 {【メニュー】ボタン→[設定]→[節電モード]》

※ EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z1000のみ

接続に関する情報

気になる項目	答え
外部モニターに表示できる映像信号の種類は?	外部モニターに表示できる映像信号は、computer入力端子、BNC入力端子に接続したコンピューターのア ナログRGB信号のみです。その他の端子に接続した機器の映像や、コンポーネントビデオ信号は表示でき ません。 また、本機がスタンバイ状態の時は映像が表示されません。
入力ソースを切り替えたときのメッセージを投写画面に 表示させないようにしたい。	 [メッセージ表示]を[オフ]に設定します。(初期値:[オン]) 警告状態はインジケーターの表示で確認することができます。 ● p.66 操作や動作に関するダイアログや、ランプ交換勧告、Message Broadcastingの終了、プロジェクターIDは表示されます。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[メッセージ表示]》
背景に表示する画面を変更したい。	青、黒、ロゴから選択できます。ロゴが登録されていないときは、EPSONロゴが表示されます。* [背景表示]:映像信号が入力されていないときの画面表示を設定します。(初期値:[青]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[背景表示]》 [スタートアップスクリーン]:本機の電源をオンにしたときに、ユーザーロゴを表示する([オン])、表示 しない([オフ])を設定します。(初期値:[オン]) 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[スタートアップスクリーン]》

※ パスワードプロテクトのユーザーロゴ保護をオンにしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。ユーザーロゴ保護をオフにしてから設定を変更してください。 ● p.44

輸送に関する情報

気になる項目	答え
梱包の準備をするときの注意点は?	 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。 レンズにカバーを取り付けてください。 標準ズームレンズ以外のオプションレンズを装着しているときは、レンズユニットを取り外してください。レンズ付きモデルの場合は、標準ズームレンズを取り付けてください。レンズなしモデルの場合は、購入時に本機のレンズ装着部に付いていたカバーを取り付けてください。 レンズシフトを上下、左右とも中央に設定してください。
梱包と輸送時の注意点は?	運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固なダン ボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。



4



3 レンズユニットロックレバーをつまんだまま、反時計回りに回します。

5 レンズユニットの白い丸印を上に向けた状態でレンズ装着部に まっすぐ挿入します。





6 レンズユニットをしっかり支えた状態で、ロックレバーを時計回 りに動かしてロックします。ロック後は、レンズユニットが外れ ないことを確認してください。







フロントカバーを取り付けます。





インターフェイスカバーの取り付け

インターフェイスカバーを装着すると、雑然としたケーブル類をきれい に包み隠しスッキリした外観となります。

- 1 接続したケーブルを上に出すときはインターフェイスの上側のふたを、下に出すときは下側のふたを取り外します。
- カバーをガイドに沿って装着します。
- **3** 固定ネジを締めます。

設置条件



本機の設置可能角度は以下のとおりです。

垂直方向:上下100°設置可能です。

水平方向:フロントおよびリアフットを伸縮できる範囲で傾けられま す。

排気口、吸気口と壁の間には50cm以上のスペースが必要です。



本機を並べてお使いになるときは、プロジェクターとプロジェクターの 間を50cm以上開けてください。また、排気口から出た熱が吸気口に入 り込まないようにしてください。



設置が終了したら、本機の投写向きに合わせて[設置角度]を[正置き]、 [下向き]、[上向き]、[上斜め]、[下斜め]の中から設定してください。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設置角度]》

投写映像の位置調整(レンズシフト)

- - リモコンの【レンズシフト】ボタンを押します。本体の操作パネル を使用する場合は、【Lens】ボタンを3回押します。
- 2 リモコンの【◎】ボタンまたは本体操作パネルの【☆/▲】【□/▼】 【⑴/◀】【□/▶】ボタンで投写映像の位置を合わせます。
 - プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、 フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めて から30分以上たってから行うことをお勧めします。
 - レンズシフトを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮 明な映像となります。

レンズシフトで映像を移動できる範囲は、以下のとおりです。

EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W



EB-Z10005/Z10000/Z8150



● レンズの中心

2 レンズシフトを中央に設定したときの投写映像

映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。

ズームを調整する

- **1** リモコンの【ズーム】ボタンを押します。
- 2 【◎】ボタンを【 ◀】【 ▶】方向に押して調整します。

ピントを調整する

- **1** リモコンの【フォーカス】ボタンを押します。
- ▶ 【◇】ボタンを【 ◀】【 ▶】方向に押して調整します。

テストパターンを表示する

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整 できます。



投写中にリモコンの【メニュー】ボタンまたは操作パネルの【Menu】 ボタンを押します。 2

リモコンの【◎】ボタンを【 ◀ 】【 ▶】方向に押す、または操作パネルの【Enter】ボタンを押してテストパターンを切り替えます。



テストパターン表示中は、以下の映像調整を行えます。

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
画質調整	カラーモード
	絶対色温度
	アドバンスト
	- ガンマ*1
	- RGB
	- RGBCMY
	初期化
映像	自動調整

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
設定	幾何学歪み補正 🖝 p.34
拡張設定	マルチプロジェクション 🖝 p.38
	- 明るさレベル※2
	- エッジブレンディング
	- マルチスクリーン

※1カスタムガンマ設定は除く

※2 EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z1000のみ



テストパターンを表示中に設定できないメニュー項目の設定 や、投写映像の細かい調整は、接続機器からの映像を投写し て行ってください。 リモコン



名称	働き
メニューボタン	環境設定メニューを表示/終了します。
【 ◎】ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー 項目や設定値の選択を行います。 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、 ボタンを傾けると傾けた方向(8方向)にマウスポインタ が移動します。
決定ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決 定したり、1つ下の階層に進みます。 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、 マウスの左ボタンとして機能します。
レンズシフトボタン	レンズシフトの調整をするときに押します。 🖝 p.22
IDボタン	リモコンIDを設定するときに押します。 リモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクター だけをリモコンで操作できるようになります。 ● p.30
ズームボタン	ズーム調整するときに押します。 🖝 p.23
フォーカスボタン	フォーカス調整するときに押します。プロジェクターの 電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカ ス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めて から30分以上たってから行うことをお勧めします。 ● p.23
戻るボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中 に押すと、1つ上の階層に戻ります。 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、 マウスの右ボタンとして機能します。
ユーザーボタン	環境設定メニューのよく使われる項目の中から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 ● p.27 初期設定ではテストパターンが割り当てられています。
IDスイッチ	リモコンのID設定の有効(On)/無効(Off)を切り替えるス イッチです。

リモコン

名称	働き
入力検出ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えま す。

その他のボタン





映像入力

	名称	働き
0	コンピューターボタン	Computer入力端子からの映像に切り替えます。
2	BNCボタン	BNC入力端子からの映像に切り替えます。
3	HDMI 1/2ボタン	押すたびに、HDMI1入力端子、HDMI2入力端子から の映像に切り替えます。
4	ビデオボタン	押すたびに、Video入力端子、S-Video入力端子から の映像に切り替えます。
6	LANボタン	EasyMP Network Projectionの映像に切り替えます。
6	SDIボタン	SDI入力端子からの映像に切り替えます。 EB-Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000/Z8150をお使い のときは、このボタンを押しても何も機能しませ ん。

映像操作

	名称	働き
7	ページボタン 【〒】【�】	オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時 に、このボタンを押して投写中のPowerPointのスラ イドを次に送る/前に戻すことができます。
8	ポインターボタン	投写中の映像をポインターで指し示すときに押しま す。
9	Eズームボタン 【⊕】【⊝】	【⊕】ボタンを押すと、投写サイズを変えずに映像を 拡大します。 【⊖】ボタンを押すと、【⊕】ボタンで拡大した結果を 縮小します。
10	シャッターボタン	電動シャッターの閉/開、または一時的に映像を ミュートすることによって画面を暗くします。
0	2画面ボタン	画面を2つに分割して、2種類の映像を同時に投写す るときに押します。
12	静止ボタン	映像を一時停止/解除します。

画面調整

	名称	働き
13	自動調整ボタン	コンピューターのアナログRGB信号を投写中に押す と、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位 置が自動調整されます。
(4)	アスペクトボタン	押すたびに、アスペクト比が切り替わります。 ● p.35
15	カラーモードボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。

その他

	名称	働き
16	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。
0	ヘルプボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了しま す。
13	リモート端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、 リモコンからの信号を出力します。リモコンケーブ ルをこのリモート端子に差し込むとリモコン発光部 は機能しなくなります。
(9	初期値ボタン	一部の環境設定メニューのみ、調整中の設定値を初 期値に戻します。
20	数字ボタン	パスワードの入力やネットワークメニューでIPアド レスなどを入力するときに使います。 🖝 p.44
2	テンキーボタン	パスワード入力やリモコンIDの指定、ネットワーク メニューでIPアドレスなどを入力するときに使いま す。 🖝 p.30, p.44
22	インジケーター	リモコン信号を出力しているときに発光します。

リモコンの操作可能範囲





・オプション品のリモコンケーブルセット(ELPKC28)を使用してリ モコンと本機を接続した場合、操作可能範囲は20mになります。

 リモコンからの操作信号の受信を制限するときは、[リモコン受 光部]で設定します。

《【メニュー】ボタン→[設定]→[リモコン受光部]》

リモコンの操作

以下の動作は、リモコンの1つのボタンを押すだけで操作できます。

動作	設定
パスワードを使ったセキュリティー設 定をする。 ● p.44	【静止】ボタンを約5秒以上押したまま にします。[パスワードプロテクト] 画面が表示されるので、各設定を行い ます。
 一部のリモコンボタンの操作をロックする、ロックを解除する。 ● p.46 	【ヘルプ】ボタンを約5秒以上押したま まにします。
環境設定メニューの[リモコン受光 部]の設定を初期化する。(本機のリモ コン受光部をすべて有効にする。)	【メニュー】ボタンを約15秒以上押し たままにします。
よく使う環境設定メニューの項目を直 接表示する。	【ユーザー】ボタンを押します。割り 当てるメニュー項目は、[ユーザーボ タン]で設定します。 《【メニュー】ボタン→[設定]→[ユー ザーボタン]》 割り当てることのできるのは以下の項 目です。 [節電モード]*、[情報]、[プログ レッシブ変換]、[テストパターン]、 [入力解像度]、[メモリー]

※ EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z1000のみ

電源オン/オフ時の注意

電源を入れる



インターフェイスカバーを取り外します。

2 電源コードを接続します。

同梱の電源コードで接続します。

Jモコンまたは操作パネルの【①】を押して電源を入れます。

・プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。

 ●標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モード]を [オン]にしてください。
 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[高地モー

《【メニュー】ホタノ→ [拡張設定]→[動作設定]→[高地モー ド]》

本機を購入後初めて電源をオンにしたとき、「時刻を設定しますか?」とメッセージが表示されます。時刻の設定方法は以下を参照してください。 ● p.31

電源を切る



- リモコンまたは操作パネルの【ひ】を2 回押します。
- **日** 「ピッ、ピッ」と鳴ったら、電源コードを抜きます。

IDの設定

プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェク ターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用 するときに便利です。



プロジェクターIDを設定する

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[プロ ジェクターID]》

設定したいIDを選び、【決定】ボタンを押します。

【プロジェク	フター ID]	🛛 戻る 🕲
	1オフ 11 12 13 14 15 16	
	18 19	

プロジェクターIDの確認方法

リモコン

投写中に、【ID】ボタンを押したまま【ヘルプ】ボタンを押します。

シズシフト ズーム・フォーカス プロジェクターID: (7) (8) (9) レンズ \bigcirc (Num) 初期値 数空 ルプ **EPSON**

ボタンを押すと、投写画面上に現在のプロジェクターIDが表示されま す。表示は約3秒で消えます。

リモコンIDを設定する



リモコンの【ID】スイッチをOnに設定します。





【ID】ボタンを押したまま、操作するプロジェクターのIDと同じ数 字のボタンを押します。

●「プロジェクターIDの確認方法」p.30

設定が終了するとリモコンから操作できるプロジェクターが限定されま す。



リモコンIDの設定はリモコンに記憶されます。記憶したID設定は、 リモコンの電池交換などで、リモコンからいったん電池を外しても 残ります。ただし、電池を取り外した状態で長期間放置すると初期 値(ID0)に戻ります。

時刻の設定

本機に時刻を設定します。設定した時刻はスケジュール機能や無線LAN の認証で使用します。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[時刻/スケジュール設定画面へ]→ [日付&時刻]》





サブメニュー名	機能	
日付	今日の日付を設定します。	
時刻	現在の時刻を設定します。	
時差(UTC)	協定世界時からの時差を設定します。(日本国内: +9:00)	
夏時間設定画面へ	夏時間の設定を行う画面を表示します。	
インターネット時刻	[オン]に設定するとインターネット時刻サーバー へ接続し、時刻を自動的に更新します。	
インターネット時刻 サーバー	インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力 します。	

夏時間設定画面

サブメニュー名	機能
夏時間	夏時間を有効にする([オン])/しない([オフ])を 設定します。[夏時間調整(分)]では、標準時間と 夏時間の差を調整します。
夏時間開始	夏時間を開始する日時を設定します。
夏時間終了	夏時間を終了する日時を設定します。

サブメニュー名	機能	
夏時間調整(分)	標準時間と夏時間の差を調整します。	

 設定を変更したときは、必ず[設定完了]を選択して、[はい]を 択してください。 	選
 正確な時刻で運営したい場合は、インターネット時刻をご利用 ださい。 	<

ユーザーロゴの登録



「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使います か?」と表示されるので、[はい]を選択します。

3 ユーザーロゴとして使用する映像の範囲を選択します。





表示倍率を選択します。

「この映像を保存しますか?」とメッセージが表示されるので、 [はい]を選択すると、登録が終了します。

映像のゆがみを補正する

投写映像のゆがみの補正や、補正方法の切り替えは以下の操作で行いま す。

・投写映像の歪みを補正すると画面サイズは小さくなります。
 ・複数の補正方法を組み合わせて使用することはできません。例えば、タテヨコ補正で補正した画面を、さらにQuick Cornerで補正することはできません。

タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。

補正範囲

レンズシフトが中央の場合、スクリーンに対して本機の傾斜角度が、上下方向30°左右方向20°でであれば補正できます。

弓形補正

スクリーンのたるみや縮みによる湾曲した映像のゆがみを微調整できます。

映像の湾曲ゆがみを微調整する機能です。曲面に投写した映像のゆがみを補正する機能ではありません。

補正範囲

各方向に0.5画素ずつ、以下の範囲内で補正できます。



[弓型補正]

上下方向に最大7画素、左右方向に最大3画素の範囲で補正できます。

エリアを選択してください。

その他の補正点を選択時:

上下方向に最大7画素、左右方向に最大110画素の範囲で補正できます。

ポイント補正

2つ以上の映像を重ね合わせたときに、映像の重なり合う部分のズレを 微調整します。

投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで補 正します。

その他、部分的に発生するわずかなゆがみを補正するときに使用します。



補正範囲

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、上下方向に最大7画素、左右方向に最大 32画素の範囲で補正できます。



投写映像のアスペクト比を切り替える

- 入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比 を切り替えます。
- 投写している映像の種類により、設定できるアスペクトモードは異なり ます。

切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモー ド名が表示され、アスペクト比が切り替わります。





アスペクトモード	説明	
オート	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で 投写します。	
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写します。	
4:3	4:3のアスペクト比で投写します。	
16:9	16:9のアスペクト比で投写します。	
フル	画面いっぱいに投写します。	
ズーム	入力した映像のアスペクト比のまま横方向が画面 いっぱいになるように投写します。画面からはみ出 した分は投写されません。	
リアル	入力した映像の解像度のまま画面の中央に投写しま す。画面からはみ出した分は投写されません。	

EB-Z8455WU/Z8450WU



アスペクト	入力信号			
モード	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)	WUXGA 1920X1200(16:10)	
リアル				

EB-Z8355W/Z8350W




EB-Z10005/Z10000/Z8150





マルチプロジェクション

準備

- プロジェクターにIDを設定します。
- 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[プ ロジェクターID]》
- プロジェクターを操作するときは、①リモコンの【ID】スイッチをOnに して、②【ID】ボタンを押したまま、③プロジェクターのIDと同じ数字 のボタンを押します。

プロジェクターのIDを確認するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま【ヘルプ】ボタンを押すと、投写画面に表示されます。

- ・プロジェクターの向きや、レンズシフトを使って投写映像の位置を調整します。 p.22
- リモコンの【カラーモード】ボタンでカラーモードを[マルチプロジェ クション]に設定します。
 - プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、
 映像を投写し始めてから30分以上たってから設定を行うことをお 勧めします。
 - 投写映像の形状にゆがみが出ないように、投写位置を調整してください。幾何学歪み補正機能でゆがみを補正すると、投写映像を重ねたときに、映像の位置を合わせるのが困難になります。
 - 拡大・縮小などの処理を加えずにそのまま表示できるドットバイドットの画像を使うと、補正作業を簡単に行えます。

手順の流れ



- ① 投写映像を合わせたときのわずかな位置ズレを補正する ●「①ポイント 補正」p.38
- ② プロジェクターのランプ個体の明るさによる明暗の差を調整する ●「② 明るさレベル(EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000の み)」p.39
- ③ 映像が重なりあった部分を目立たなくする ●「③エッジブレンディング」 p.39
- ④ 投写映像の色合いのバランスを調整する ●「④マルチスクリーン」 p.40

①ポイント補正

p.34を参照してください。

②明るさレベル(EB-Z8455WU/Z8450WU/Z8355W/Z8350W/Z10005/Z10000のみ)

それぞれのプロジェクターのランプ個体の明るさが同じになるように [明るさレベル]を調整します。

《【メニュー】ボタン→「拡張設定]→「マルチプロジェクション]→「明る さレベル1》



一番暗いランプを基準に調整してください。明るさは5段階で調整でき ます。



③エッジブレンディング

映像のつなぎ目を目立たなくします。



環境設定メニューの[エッジブレンディング]から行います。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[エッ ジブレンディング1》

以下の画面が表示されます。

画質調整	【エッジブレンディング 】	展る
映像	(エッジブレンディング	
設定	エッジ位置(上) エッジ位置(下)	オフオフォー
拡張設定 🔹	・エッジ位置(左) エッジ位置(右)	
ネットワーク	ー フレント曲線 黒レベル調整	U
情報	マーカー パターン表示 マーカー色	オフオフィーン
初期化) <u>()</u> –) (
【戻る]:戻る【	▶]:選択【❹]:決定	【メニュー]:終了

操作

- 上記の画面から[エッジブレンディング]、[マーカー]を[オン] にします。
- 映像が重なり合っている箇所に合わせて、[エッジ位置]を設定し 2 ます。

例:①の画面に対して設定を行うとき



投写映像の上側と左側が重なり合うので、[エッジ位置(上)]、 [エッジ位置(左)]を選択し、[ブレンディング]を[オン]に設定 します。

【エッジ位置(上)】	(一戻る)
 (ブレンディング オン (ブレンド範囲 20 ● □ 	
【戻る]:戻る【◆]:選択【❹]:決定	【メニュー】:終了)
ブレンディングをかける範囲がマー	カー表示されます



[ブレンド範囲]でグラデーションをかける範囲を調整します。1 画素単位での調整が可能です。グラデーションをかけられる範囲 は、プロジェクターのパネル解像度(映像を表示できる最大領域) に対して45%までです。



映像の重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなる値が最適に なります。



- **3** 調整が終了したら、[マーカー]を[オフ]にします。
- 【ブレンド曲線】でグラデーションのかけ方を選択します。
 3通りの中から選択できます。

④マルチスクリーン

エッジブレンディングで補正した投写映像の明るさや色合いのバランス を調整します。

環境設定メニューの[マルチスクリーン]から実行します。

《【メニュー】ボタン → [拡張設定] → [マルチプロジェクション] → [マルチスクリーン]》

以下の画面が表示されます。



[調整レベル]:白 - グレー - 黒まで5つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

[明るさ補正]:明るさを全白から全黒の間で色階調ごとに調整します。

[色補正(緑-赤)]:緑~赤の色味を調整します。

[色補正(青-黄)]:青~黄の色味を調整します。

表示倍率変更

投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの 投写映像と合わせて、1つの大きな映像を作ります。



表示倍率機能で映像を拡大して表示すると、画質が粗くなる場合が あります。

本機で投写する映像を、以下の手順で調整します。

【表示倍率変更】	●戻る	
(<mark>表示倍率変更</mark> (表示倍率モード	オン ズーム表示	
タテ倍率 ヨコ倍率 映像表示範囲	X 0.00 () () () () () () () () () () () () ()	
【戻る】:戻る【 ◆]: 選択	[②]:決定 【メニュー	-]: 終了)

[表示倍率モード]を設定します。

[ズーム表示]、[フル表示]のいずれかを選択します。

[ズーム表示]:現在表示している映像のサイズを変えずに調整します。

拡大した場合

2





移動した場合





[フル表示]:プロジェクターの表示できる領域をすべて使用して 調整します。 拡大した場合



移動した場合





3 [表示倍率]を調整します。

1000%に拡大~50%に縮小の間で調整できます。 [-][+]:垂直方向、水平方向同時に映像を拡大/縮小します。 [タテ倍率]:垂直方向に映像を拡大/縮小します。 [ヨコ倍率]:水平方向に映像を拡大/縮小します。

[映像表示範囲]を調整します。

【◎】ボタンで映像をスクロールして、映像の座標やサイズを調整 します。

映像のメンテナンス

液晶アライメント

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。水平方向、垂直方向に0.25画 素ずつ、それぞれ±1画素の範囲内で調整できます。

環境設定メニューの[液晶アライメント]から実行します。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[液晶アライメント]》

・液晶アライメントで調整後は映像が劣化する場合があります。
 ● 画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

以下の画面が表示されます。

操作

画質調整	【液晶アライメント】	戻る	
映像	、 液晶アライメント	⊕ ∄フ	
設定	調整調整パターン・	к R/G/B	E
拡張設定 🛛 🕑	初期化		5
ネットワーク			
情報			
初期化			
			(2-)
(L戻るJ:戻る L♥	」:選択【Q」:決定	レメニュー」:	終了」

- ▶ [液晶アライメント]を有効にします。
 - (1) [液晶アライメント]を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - (2) [オン]を選択し、【決定】ボタンを押します。
 - (3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

[調整色]で調整する色を選択します。

- (1) [調整色]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- (2) [R](赤)、[B](青)のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押しま す。
- (3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

映像を投写する



[パターン色]で調整時に表示する格子の色を選びます。

- (1) [パターン色]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- (2) 格子の色をR(赤)、G(緑)、B(青)の組み合わせで選びます。
 [R/G/B]: R、G、Bの3色で表示します。実際の格子の色は白になります。

[R/G]: [調整色]を[R]にしているときに選択できます。R、Gの2色で表示します。実際の格子の色は黄色になります。
 [G/B]: 調整色を[B]にしているときに選択できます。G、Bの2色で表示します。実際の格子の色はシアンになります。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

【調整開始]を選択し、【決定】ボタンを押します。メッセージが 表示されるので、もう一度、【決定】ボタンを押します。

調整が始まります。調整は左上から順に4隅で行います。

調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、 もとに戻ります。

5 【◎】ボタンで調整し、【決定】ボタンを押して次の調整ポイントに 進みます。



4隅の調整後、[終了]を選択し、【決定】ボタンを押します。

【液晶アライメント】
調整を終了します。 さらに詳細な調整を行う場合、任意の交点を選択して 調整できます。
交点を選択して調整
(終了 🕘
〔【◆]:選択〔❹]:決定 【メニュー]:終了

4点で調整が不十分の場合は、[交点を選択して調整]を選択して 調整を続けます。 セキュリティー機能

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワード を知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示され る社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても 使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パス ワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定が できます。

• 電源投入時

[電源投入時]を[オン]にすると、電源コードで本機とコンセントを 接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、 事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパス ワードを入力しないと、投写は開始しません。

ユーザーロゴ保護

せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。

- ユーザーロゴのキャプチャー
- ・[表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]の設定
 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]》
- ネットワーク保護

[ネットワーク保護]を[オン]にすると、[ネットワーク]の設定変更 を禁止できます。

☞「ネットワーク設定」p.48

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。

パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。





2 設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。



セキュリティー機能

3

[オン]を選択し、【決定】ボタンを押します。 【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

🖪 パスワードを設定します。

- (1) [パスワード設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、[はい]を選択し、【決定】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。[いいえ]を選択すると、手順2の画面に戻ります。
- (3) 【数字】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の 数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されま す。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。



(4) 入力したパスワードを再度入力します。
 「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
 間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示され

間違えてバスワートを入力した場合は、メッセーシが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

- パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモ コンで入力します。
- 【数字】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパス ワードを入力します。



正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除 されます。

操作を制限する

本機には、次の3種類の操作制限機能が装備されています。

操作ボタンロック

イベントやショーなどで投写中に本機を操作できないようにしたり、 学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利な機能です。

レンズ操作ロック

本機を設置後に誤って操作することがないように、リモコンのレンズ 操作用のボタンを操作できなくする機能です。

• リモコンボタンロック

リモコンを誤って操作することがないように、リモコンの基本操作に 必要になる主要なボタン以外の操作をできなくする機能です。

操作ボタンロック

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。操 作ボタンロックを行ってもリモコンからは通常どおりに操作できます。

セキュリティー機能

● 全ロック

2

操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源の オン/オフを含めまったく操作できなくなります。

- 操作ロック
 操作パネルの【し】ボタンを除くすべてのボタンをロックします。
- 1 投写中に環境設定メニューで[操作ボタンロック]を選択します。 《【メニュー】ボタン→[設定]→[操作ボタンロック]》

目的に応じて、[全ロック]または[操作ロック]を選択します。



3 確認のメッセージが表示されるので、[はい]を選びます。 設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

レンズ操作ロック

リモコンの以下のレンズ操作用ボタンをロックできます。



】 投写中に環境設定メニューで[レンズ操作ロック]を選択します。 《【メニュー】ボタン→[設定]→[レンズ操作ロック]》

2 [オン]を選択します。

画質調整		戻る
映像	幾何字金み補止 2画面 提佐ギャンロック	9733
設定	アンス操作ロック	
拡張設定	前電モード	ホインツーI モード 2 フロント・リア
ネットワーク	ノビコン交元品 ユーザーボタン テストパターン	テストパターン
情報	メモリー	
初期化		

設定に従い、レンズ操作に関わるボタンがロックされます。

リモコンボタンロック

リモコンの以下のボタンをロックできます。



【ヘルプ】ボタンを約5秒間押し続けるたびにロック/解除されます。





- リモコン受光部の設定の初期化
- •【数字】ボタンとテンキーによる数字の入力
- リモコンボタンロックの解除

[パスワードプロテクト]の[ネットワーク保護]を[オン]に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。[ネットワーク保護]を[オフ]にしてからネットワークの設定を行ってください。

ネットワーク設定の確認

ネットワークの設定情報を確認するには、以下の2つの方法があります。

•環境設定メニューで確認する。

【メニュー】ボタン→[ネットワーク]から[ネットワーク情報 - 無線 LAN]または[ネットワーク情報 - 有線LAN]を選択すると、現在のネッ トワーク設定状況が画面に表示されます。

LAN待機画面で確認する。
 リモコンの【LAN】ボタンを押すと、以下の情報が表示されます。
 プロジェクター名、SSID、IPアドレス、キーワード

無線LAN

準備

- プロジェクターとコンピューターを無線LANで接続するには、オプション品の無線LANユニットをプロジェクターに装着してください。
- コンピューターで無線LANを使えるようにネットワーク設定をします。 詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

アドホック接続設定(かんたんモード)

添付のアプリケーションソフト「EasyMP Network Projection」を使用する ときに、コンピューターとプロジェクターを無線で直接接続(アドホッ ク接続)するときの設定方法です。

- プロジェクターでネットワーク設定画面を表示します。 《【メニュー】ボタン→[ネットワーク]→[ネットワーク設定画面 へ]》
 - [無線LAN]メニューを選択します。

2

以下の画面が表示されます。

		ネットワーク設定
		戻る
基本設定	無線LAN電源	<u>☆ オン 〇</u> ☆ オフ
	Wi-Fi Protected Setup	設定ウイザードへ
無線LAN	無線LAN方式	i 802.11b/g i 802.11b/g/n
	接続モード	◎ かんたんモード ◎ マニュアルモード
セキュリティー	自動SSID設定	オン オフ
	SSID	E879013F
有線LAN	アクセスポイント検索	検索画面へ
	チャンネル設定	🧊 1ch 🔰 6ch 🧃 11ch
管理者設定	SSID表示	1 72 1 77
	DHCP	1 72 1 77
初期11日	IPアドレス	192.168.200.100
100007		255.255.255.000
設定元了		192.168.200.001
	IP アドレス表示	オン ゴーオフー
	地域コード	JP2

3 [無線LAN電源]を[オン]に設定します。

4

[接続モード]を[かんたんモード]に設定します。

必要に応じて他の項目を設定します。

機能
無線 LAN 方式を設定します。通常は、 802.11b/g/nを選択してください。
[オン]に設定すると複数のプロジェクターの中からより早く本機を検索することができます。 SSIDは自動的に設定されます。1台のコンピューターから複数のプロジェクターに接続するときは、[オフ]に設定し、接続する全てのプロジェクターに同一のSSIDを設定してください。
([自動SSID設定]が[オン]のときは設定できま せん。)SSIDを入力します。本機が参加する無線 LANシステムでSSIDが定められているときは、そ のSSIDを入力します。半角英数字で最大32文字 まで入力できます。(^は使用不可。)SSIDを空欄 またはANYに設定することでANY接続を行いま す。
使用するチャンネルを選択できます。他の電波 の干渉を受けるときは、別のチャンネルに設定 してください。
LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、 [オフ]に設定します。
LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。

6 設定が終了したら、[設定完了]を選択します。

インフラストラクチャー接続設定(マニュアルモード)

無線LAN環境で、コンピューターとプロジェクターをアクセスポイント 経由で接続するときの設定方法です。

添付のアプリケーションソフト「EasyMP MultiPC Projection」を使用する ときに無線LANで接続するときは、この方法で接続してください。 接続するアクセスポイントの設定(SSID、セキュリティー)を確認 します。

ネットワーク管理者にご確認ください。

- 2 プロジェクターでネットワーク設定画面を表示します。 《【メニュー】ボタン→[ネットワーク]→[ネットワーク設定画面 へ]》
- **3** [無線LAN]メニューを選択します。

以下の画面が表示されます。

		ネットワーク設定
		戻る
基本設定	無線LAN電源	<u>☆ オン 0</u> (1 オフ
	Wi-Fi Protected Setup	設定ウィザードへ
無線LAN	無線LAN方式	802.11b/g 802.11b/g/n
	接続モード	◎ かんたんモード
セキュリティー	自動SSID設定	↓ オン ↓ オフ
	SSID	E879013F
有線LAN	アクセスポイント検索	林浩司町へ
	チャンネル設定	🧊 1ch 🔰 6ch 🧃 11ch
管理者設定	SSID表示	オン オフ
	DHCP	1 オン オフ
初期化	IP アドレス	192.168.200.100
		255.255.255.000
設定完了		192.168.200.001
	IPアドレス表示	オン オフ
	地域コード	JP2

4

[無線LAN電源]を[オン]に設定します。

5 [接続モード]を[マニュアルモード]に設定します。

6 必要に応じて他の項目を設定します。

サブメニュー	機能
無線LAN方式	無線LAN方式を設定します。通常は、 802.11b/g/nを選択してください。 アクセスポイントの設定に応じて自動的に接続 方式を選択します。802.11nに対応していない地 域では、802.11b/gのみ表示されます。
Wi-Fi Protected Setup	以下の2通りの方法でアクセスポイントに接続で きます。 ・ プッシュボタン方式 本機操作パネルの【Enter】ボタンとアクセスポ イント機器に搭載されている専用ボタンを押 せば、SSIDとセキュリティーの設定が自動的 に行われます。プロジェクターとアクセスポ イントが近くにあるときはこの方式が向いて います。 ・ PINコード方式 プロジェクターにあらかじめ割り振られてい る8桁の数字をコンピューターを介してアクセ スポイント機器へ入力することで、SSIDとセ キュリティーの設定が自動的に行われます。 コンピューターとアクセスポイント間は、事 前に接続設定しておきます。接続方法はアク セスポイント機器の取扱説明書でご確認くだ さい。プロジェクターを天吊り設置している ときは、この方式が向いています。

サブメニュー	機能
SSID	 SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。半角英数字で最大32文字まで入力できます。(^は使用不可。)入力できる文字の種類は以下のとおりです。 数字 3456789 アルファベット ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijkl mnopqrstuvwxyz 記号
アクセスポイント検 索	接続モードを[マニュアルモード]に設定しているときは、周囲のアクセスポイントを検索し、その中から接続するSSIDを指定できます。アクセスポイントの設定によっては一覧に表示されない場合があります。セキュリティーは別途設定が必要です。
SSID表示	LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、 [オフ]に設定します。
DHCP	DHCPを使用する([オン])/しない([オフ])を設 定します。 ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設 定はできなくなります。
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入 力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用 できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~ 255.255.255.255(xは0~255の数字)

サブメニュー	機能
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。アドレ スの各フィールドには0~255の数字を入力でき ます。ただし、以下のサブネットマスクは使用 できません。 0.0.0.、255.255.255.255
ゲートウェイアドレ ス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入 力できます。ただし、以下のゲートウェイアド レスは使用できません。 0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(x は0~255の数字)
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。

7 必要に応じて、[セキュリティー]メニューでセキュリティー設定をします。

セキュリティーの設定の内容は、ネットワーク管理者の指示に 従ってください。

8 設定が終了したら、[設定完了]を選択します。

有線LAN

有線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

1 お使いのネットワーク環境でDHCPを使用できるか、ネットワーク管理者に確認します。

DHCPを使用できないときは、 値を確認します。	プロジェクターに設定する次の
• IPアドレス	
• サブネットマスク	

• ゲートウェイアドレス



- **3** プロジェクターにLANケーブルを接続します。
- **4** プロジェクターの電源を入れます。
- 5 プロジェクターでネットワーク設定画面を表示します。 《【メニュー】ボタン→[ネットワーク]→[ネットワーク設定画面 へ]》
- **6** [有線LAN]メニューを選択します。

以下の画面が表示されます。





7 [DHCP]を選択します。

DHCPを使用できる場合: [DHCP]を[オン]に設定します。 DHCPを使用できない場合: [DHCP]を[オフ]に設定して、プロ ジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアド レスを入力します。



設定が終了したら、[設定完了]を選択します。

その他ネットワーク設定に関するメニュー一覧

セキュリティーメニュー

無線LANユニットを装着してお使いの際は、セキュリティーの設定を行 うことをお奨めします。

	ネットワーク設定
	展る
基本設定	セキュリティー V Open C
無線LAN	EAPIR: WPA/WPA2-PSK WPA/WPA2-EAP
セキュリティー	
有線LAN	
管理者設定	
初期化	
設定完了	

サブメニュー	機能
サブメニュー セキュリティー	 機能 設定するセキュリティーの種類を選択します。 かんたんモード時 [Open]: セキュリティーを設定しません。 [WPA2-PSK(AES)] ([自動SSID設定]が[オン]の場合の み): WPA2によるセキュリティーを使って通信を行いま す。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューター からプロジェクターに接続するときは、パスフレーズ に設定した値を入力してください。 マニュアルモード時 [Open]: セキュリティーを設定しません。 [WPA2-PSK(AES)]: WPAパーソナルモードで接続を行い ます。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて 自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパ スフレーズを設定します。 [WPA/WPA2-EAP]: WPAエンタープライズモードで接続 を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に
	を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に 応じて自動的に選択されます。LEAPを用いるときはこ の項目を選択します。

本機はWEPを暗号化方式として設定することはできません。

WPA/WPA2-PSK選択時



サブメニュー	機能
パスフレーズ	パスフレーズを入力します。半角英数字で8文字以上、最 大63文字まで入力できます。パスフレーズを入力し、【決 定】ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示 されます。
	EasyMP Network Projectionと組み合わせて使う場合、初期 状態のパスフレーズであればコンピューター側でのパス フレーズ入力を省略することができます。
	セキュリティーを確保するために、パスフレーズは定期 的に変更することをお奨めします。ネットワーク設定の 初期化を行うと、初期状態のパスフレーズに戻ります。
	☞「初期化メニュー」p.61
	環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。 32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使っ て入力します。
	かんたんモード時には、初期状態でパスフレーズが設定 されています。

ネットワーク設定

WPA/WPA2-EAP選択時



サブメニュー	機能
EAP設定	認証用プロトコルを設定します。
	[PEAP]: Windows Serverで広く使われている認証プロトコ ルです。
	[PEAP-TLS]: Windows Serverで使われている認証プロトコ ルです。クライアント証明書を使用する場合に設定しま す。
	[EAP-TLS]: 一般的に広く使われている、クライアント証 明書を使用する認証プロトコルです。
	[EAP-Fast]、[LEAP]: これらの認証プロトコルが使用され ているときに指定します。

サブメニュー	機能
ユーザー名	認証に使用するユーザー名を入力します。半角英数字で 最大64文字まで入力できます。
	PEAP-TLS、EAP-TLS選択時は、クライアント証明書から自動的に取得されたユーザー名が表示されます。認証サーバーの要求により、別のユーザー名を指定する必要があるときは、変更することができます。
	環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。 32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使っ て入力します。
	ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー 名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加 します。
パスワード	認証に使用するパスワードを入力します。半角英数字で 最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、 [Finish]を選択すると、パスワードはアスタリスク(*)で 表示されます。 環境設定メニューで入力できる文字物は是する文字です
	32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使っ て入力します。
クライアント証 明書	格納済みのクライアント証明書に設定された[発行先]、 [発行者]、[有効期間]を表示します。証明書が設定され ていない場合は空白となります。
サーバー証明書 の検証	[オン]に設定すると、認証サーバーの証明書の正当性を 検証します。サーバー証明書を検証するためのCA証明書 を設定する必要があります。 ← 「証明書の記字をする」。50
CA訨明書	格納済めのCA証明書に設定されたL発行先」、L発行者」、 [有効期間]を表示します。証明書が設定されていない場 合は空白となります。
認証サーバー名 の指定	[オン]に設定すると、サーバー証明書の検証時に認証サー バー名を確認します。サーバー名を指定することで、不 正な認証サーバーに接続するリスクを低減します。

サブメニュー	機能	
認証サーバー名	認証サーバーの名前を指定します。	
	半角英数字で最大32文字まで入力できます。(^ は使用不 可。)	
サーバー証明書 の有効期限検証	[オン]に設定すると、サーバー証明書の検証時に証明書 の有効期限を確認します。	

管理者設定メニュー



サブメニュー	機能
管理者パスワー	ネットワーク設定の管理者設定メニューに対するパスワー
۴	ドを入力します。
	半角英数字で最大16文字まで入力できます。(* は使用不
	可。)
	管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワー
	ドは空白のままで[OK]を押してください。

サブメニュー	機能	
ネットワークホ スト名	ネットワーク上で本機を識別するための名称です。Web 制御や「ネットワークプロジェクターへの接続」などで使 用します。 変更するときは、半角英数字15文字以内で入力します。 (記号は のみ使用可。最初の文字はアルファベット、 最後の文字はアルファベットか数字であること。)	
PJLink パスワー ド	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセ スするときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。(記号は使用 不可。)	
Web 制 御 パ ス ワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。(*は使用不可。)Web制御はネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザーを利用して、コンピューターから本機を設定・制御する機能です。認証用のパスワードを設定すると、本機にアクセスしたときにパスワード入力画面が表示されます。ユーザー名にはEPSONWEBと入力してください。	
Monitorパスワー ド	EasyMP Monitorを使用するときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で最大16文字まで入力できます。(*は使用不可。)	
セキュアHTTP	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を 暗号化し、セキュリティーを強化します。セキュリティー の設定をWeb制御で行う場合は、[オン]に設定すること をお奨めします。	
メール通知機能	メール通知機能の設定メニューに移行します。 ☞「メール通知機能メニュー」p.56	
証明書管理	証明書管理の設定メニューに移行します。 ☞「証明書管理メニュー」p.57	
SNMP	SNMPの設定メニューに移行します。 ☞「SNMPメニュー」p.61	

サブメニュー	機能
優先ゲートウェ イ	[メール通知機能]の優先ゲートウェイを[有線]/[無線] のどちらにするか選択します。
AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいと きは[オン]に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、 [オフ]に設定してください。
Crestron RoomView	Crestron RoomView [®] を使用して、ネットワーク経由で本 機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通 常は[オフ]に設定してください。 設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。 [オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれま せん。 • Web制御 • Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	Bonjourによるネットワーク接続を行うときは [オン]に設 定します。Bonjourサービスの詳しい説明については、 Apple社のWebサイトをご覧ください。 http://www.apple.com/
EPSON Message Broadcasting	EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。 ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。 http://www.epson.jp/download/

メール通知機能メニュー

プロジェクターが異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定 すると電子メールで通知されます。

	×	ットワーク設定
		展る
基本設定	メール通知機能	1) オン O オフ
	SMTPサーバー	000.000.000.000
無線LAN	ポート番号	00025
	メールアドレス1	
セキュリティー		
	メールアドレス3	
有絆LAN	通知イベントの指定	
	システム異常	
管理者設定	エアフィルター共称	
	- ウ部高温異常	
20186/F	電源系警告(バラスト)	
104010	高温警告	
10.000	シャッター警告	
設定完了	シネマフィルター警告	
	エアフィルター警告	
	エアフィルツール時間通知 ランプ消灯整告	
		2 3
		1 1 2 1 3

サブメニュー	機能
メール通知機能	[オン]にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できま す。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25で す。1~65535までの有効な数値を入力できます。

サブメニュー	機能
メールアドレス1/ メールアドレス 2/メールアドレ ス3	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送 信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大 64文字まで入力できます。("(),;<>[¥]は使用不可。) 環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。 32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使っ て入力します。 通知メールの送信元は宛先1のアドレスです。
通知イベントの 指定	メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、[メールアドレス]で 指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。

証明書管理メニュー

	ネッ	トワーク設定
		戻る
基本設定	クライアント証明書	WUF8
無緣LAN	死行先 発行者 有効期間	
セキュリティー	CA题明書	NJFR.
有線LAN		
管理者設定		更新 🕘
初期化	発行先 発行者	E8286EB1 E8286EB1
設定完了	有効期間	2100-01-01 00:00:00

サブメニュー	機能
クライアント証 明書	格納済みのクライアント証明書に設定された[発行先]、 [発行者]、[有効期間]を表示します。証明書が設定され ていない場合は空白となります。クライアント証明書の 設定は、[セキュリティー]で[WPA/WPA2-EAP]選択時、 [EAP設定]で[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]を選択しているとき に必要です。 [削除]を選択すると、格納された証明書を削除します。
CA証明書	格納済みのCA証明書に設定された[発行先]、[発行者]、 [有効期間]を表示します。証明書が設定されていない場 合は空白となります。CA証明書の設定は、[セキュリ ティー]で[WPA/WPA2-EAP]選択時に、認証サーバーの証 明書の認証を行うときに必要です。 [削除]を選択すると、格納された証明書を削除します。
自己署名証明書	([セキュアHTTP]を[オン]に設定しているときのみ) 本機に内蔵されたサーバー機能が保持する証明書の[発行 先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。Webサーバー 証明書が設定されているときは表示されません。 [更新]を選択すると、自己署名証明書を更新します。

サブメニュー	機能
Webサーバー証 明書	([セキュアHTTP]を[オン]に設定しているときのみ) 本機に設定された証明書の[発行先]、[発行者]、[有効
	期間]を表示します。自己署名証明書が設定されていると きは表示されません。
	[削除]を選択すると、格納された証明書を削除します。

🥱 証明書の発行に関してはネットワーク管理者にお問い合わせくださ \langle い。

証明書の設定をする

無線ネットワークの認証に使用する証明書の設定をWebブラウザーで行 います。

無線LANのセキュリティー設定に用いるクライアント証明書、CA証明書 や、セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインストールしま す。

- 1
- コンピューターでWebブラウザーを起動します。
- Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレ 2 スを入力し、コンピューターのキーボードのEnterキーを押しま す。

Web制御画面が表示されます。

プロジェクターの環境設定メニューのネットワークメニューで Web制御パスワードを設定しているときは、パスワードを入力す る画面が表示されます。

3 ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。 ユーザーIDに「EPSONWEB」と入力します。 パスワードの初期設定は「admin」です。



- [ネットワーク]から[管理者設定]-[証明書管理]の順にクリック 4 します。
- 証明書管理画面が表示されます。 5

ネットワーク設定

×	Web Control		+	
EPSON				
プロジェクター制御 Web Remote >>> 😕	ネットワークト管理者派	☞□証明書管理		
Lens Control >>>>		ファイル名		
映像		バスワード		
画質調整	クライアント証 明書	発行先		
医原		発行者		
設定		有効期間	設定	
拡張設定		ファイル名		
情報		発行先		
<u>情報</u> 2019日 AN	CA証明書	発行者		
<u>当級LAN</u> 無線LAN		有効期間	「設定」	
スケジュール		ファイル名		
<u>日付&時刻</u>		パスワード		
<u>X791-N</u>	Webサーバー証	nc+	ED.	
ネットワーク 基本設定	明書	元(1)元	ED.	
<u>有線LAN</u>		光行者	EB.	
<u>無線LAN</u>		有効期間	2013-10-14 00:00:00	
世地名DJJ 変更した設定をプロジェク ターに反映する場合は各項 目の設定ボタン押下後、反 映ボタンを押してくださ い。				
反映				

サブメニュー名	項目または設定値
クライアント証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間

サブメニュー名	項目または設定値
CA証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間
自己署名証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間
Webサーバー証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期間



7

インストールする証明書に応じて、設定をします。

設定が終了したら、[反映]を押します。





証明書をインストールするときは、本機に対応した形式であること
を確認してください。 ● p.60

セキュアHTTPについての注意

[ネットワーク]メニューの[管理者設定]で[セキュアHTTP]を[オン]に したときは、HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを適用します。 この機能を用いると、プロジェクターとWebブラウザー間のセキュリ ティーを強固にできます。

HTTPSプロトコルを用いた通信では、サーバー側の信頼性を証明するために証明書を用います。Webブラウザーから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成して、プロジェクターにインストールします。

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を 自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザーから信頼性 を検証できないため、Webブラウザーからプロジェクターにアクセスし たときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。サーバー証明 書に比べてセキュリティーは劣りますが、この警告を無視することで通 信を継続できます。

サポートする証明書の一覧

クライアント証明書(PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

サーバー証明書(PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-Fast)

項目	説明
対応フォーマット	X509v3

項目	説明
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

Webサーバー証明書(セキュアHTTP)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

ネットワーク設定

SNMPメニュー



サブメニュー	機能
SNMP	[オン]にすると、SNMPを使用して本機の監視をします。 本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネー ジャープログラムがインストールされている必要があり ます。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が 行ってください。初期値は[オフ]に設定されています。
トラップIPアドレ ス1/トラップIPア ドレス2	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できま す。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できま す。 ただし、以下のIPアドレスは使用できません。
	127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
コミュニティー 名	SNMPのコミュニティー名を設定します。半角英数字で最 大32文字まで入力できます。(記号は@のみ使用可。)



サブメニュー	機能
ネットワーク設 定を初期化しま	ネットワーク設定をすべて初期化するときは[はい]を選択します。
す。	初期化を実行すると、パスフレーズや管理者パスワード、 証明書管理メニューの設定も初期値に戻り、証明書は削 除されます。
	初期化した後は、基本設定メニューに移行します。

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。

ネットワーク設定

Event IDについて

ネットワーク接続に関するエラーが生じたときは、以下の画面にエラーログ(Event ID)が表示されます。

[LAN]		
プロジェクター名 SSID IPアドレス - IPアドレス (4 ³⁾ キーワード	: EB-XXXXX : : : :	



【メニュー】ボタン→[情報]メニューの画面

入力ソースをLANにしたときの待機画面

番号を確認して以下のとおり対処してください。

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してく ださい。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してく ださい。
04FF	 プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。

Event ID	要因	対処法
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設 定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	☞ p.52
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか、またはLANケーブルが正しく 接続されているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCP の設定をオフにしてください。 ● p.48
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が 解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ●「お問い合わせ先」p.75
089A	EAP認証タイプが不一致です。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。また、
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	↑証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。	
089D	鍵交換が失敗しました。	

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

以下の点を確認して、ハンドルを持って静かに移動してください。

- 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- レンズにカバーを取り付けてください。

輸送する場合

梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、以下の準備を行ってから梱包 してください。

- 標準ズームレンズ以外のオプションレンズを装着しているときは、レンズユニットを取り外してください。レンズ付きモデルの場合は、標準ズームレンズを取り付けてください。レンズなしモデルの場合は、購入時に本機のレンズ装着部に付いていたカバーを取り付けてください。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に設定してください。
- ●「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.22
- 購入時にセットされていたレンズ保護パッドを装着してください。

梱包と輸送の注意

運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように 本機の周囲を保護し、堅固なダンボール箱に入れ、精密機器であること を告げて輸送を依頼してください。

インジケーターの見方

次の各インジケーターが本機の状態をお知らせします。



インジケーターの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケーターがすべて消灯している場合は、電源コードが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 電源コードを抜いても0インジケーターがしばらく点灯したままになることがありますが故障ではありません。

インジケーターの見方

① インジケーターが赤色点灯/点滅時



66

インジケーターの見方

状態	原因	処置または状態
		本機を水平方向以外に向けて投写しているときは、[設置角度]を[下向き]、[上向き]、[上斜め]、[下斜め] の中から設定してください。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設定角度]》
Ů ở ở ∦ ₪ ■ □ □ □ ■	エアフィルター風量低 下異常	次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除ま たは交換をします。 上記を確認後もエラーになるときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店ま たはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ← 「お問い合わせ先」 p.75
	オートアイリス異常 シネマフィルター異常 シャッター異常 電源系異常(バラスト)	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先 に修理を依頼してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 p.75

🌣 🛯 🎟インジケーターが点滅/点灯時

				■:点灯 → ↓ :点滅 □:消灯 ■ こ本機の状態により異なる場合
ł	犬態		原因	処置または状態
∪ ☆ <mark>↓</mark> □	<u>-ÿ-</u> []		高温警告	 (異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。) エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしている場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。
	<u>ÿ</u> []		ランプ交換勧告	Lamp1/2インジケーターの点滅している方のランプが寿命に達しました。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、新しいランプに交換してください。 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと 交換してください。 なお、均一な色合いや明るさで映像を投写するために、ランプは2個同時に交換することをお勧めします。
	<u>-¤</u> -		ランプ消灯警告 電源系警告(バラスト)	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、次の2点を確認してください。 • Lamp1/2インジケーターの点滅している方のランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 • エアフィルターを掃除します。

インジケーターの見方

状態	原因	処置または状態
		 割れていないとき: ランプを再セットして、電源プラグをコンセントに接続します。 それでもエラーになるとき: 新しいランプに交換して、電源プラグをコンセントに接続します。 それでもエラーになるとき: ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ●「お問い合わせ先」p.75
		割れているとき :お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください(1灯投写の状態 です。なるべく早くランプを交換してください。)。 ☞ 「お問い合わせ先」 p.75
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[高地モード]》
		本機を水平方向以外に向けて投写しているときは、[設置角度]を[下向き]、[上向き]、[上斜め]、[下斜め] の中から設定してください。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設定角度]》
	エアフィルター未装着 エアフィルターセン サー故障	エアフィルターが確実に取り付けられているか確認してください。 本機はエアフィルター未装着を検出後、約1分が経過すると自動的に電源がオフになります。 エアフィルターを取り付けてもエラーになるときは、エアフィルターセンサーが故障しています。ご使用をや め、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依 頼してください。 ●「お問い合わせ先」p.75
	エアフィルター風量低 下	次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除ま たは交換をします。 上記を確認後も異常が発生するとき:ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店 またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 p.75
	エアフィルター清掃通 知	「エアフィルターの清掃時期です。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示 されます。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、エアフィルターの掃除をしてください。 エアフィルター清掃通知のインジケーターやメッセージは、環境設定メニューの[エアフィルター清掃通知]を [オン]に設定しているときに表示されます。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[エアフィルター清掃通知]》

各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

「お問い合わせ先」p.75

各部の名称と働き



盗難防止用ロック

本機は無人になる部屋に天吊りなど固定設置されることが多いため、機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

• セキュリティースロット

Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。マイクロセーバーセキュリティーシステムの 詳細は、Kensingtonのホームページhttp://www.kensington.com/でご確認ください。

• ハンドル

市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

ハンドルに盗難防止用ワイヤーロックのワイヤを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。







インターフェイス



・ 接続している機器の信号に応じて、映像メニューの入力信号方式またはビデオ信号方式を設定してください。
 ・ HDMIケーブルは、HDMI規格に適合しているものをお使いください。

72
操作パネル



−般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な 点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお 願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせた」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または 消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負い かねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防 犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必 要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および 安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、シス テム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくよう お願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機 器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用 を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様にお いて十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以 外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形 状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることが あります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使 用されることをお薦めします。

JISC61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JISC 61000-3-2」に適合しています。

商標と著作権について

Mac、Mac OSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標で す。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、また は登録商標です。 **HDMI**

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。 本製品は、RSA Security Inc.のRSA, BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSA はRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国および他の 国における登録商標です。

WPA[™]、WPA2[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]はWi-Fi Allienceの登録商標です。

The DisplayPort Certified Logo and DisplayPort Icons are Registered Trademarks of the Video Electronics Standards Association (VESA).

The word DisplayPort is a Registered Trademark of VESA in various countries around the world.

HDBaseT[™] and the HDBaseT Alliance logo are trademarks of the HDBaseT Alliance. なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2013. All rights reserved.

2013.7 412587100(J)

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。 インキュオ・エプソンなら構入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 FAQ http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。 050-3155-7010 【受付時間】月~金曜日9:00~20:00 土曜日:10:00~17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00~17:30 月~金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070

・鳥取修理センター:0857-77-2202 ・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

引取修理サービス(ドアセトアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、 修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話 050-3155-7150 [受付時間]月~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*平日の17:30~20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00~18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行 いたします。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エブソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。 *年末年始(12/30~1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

- ●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/ エブソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
 - クエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F 【開館時間】 月曜日~金曜日 10:00~17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

MyEPSON

エプンン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプノンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にビッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

http://myepson.jp/

●消耗品のご購入

お近くのエブソン商品取扱店及びエブソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101) でお買い求めください。(2013年4月現在)

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 最新の情報はエプソンのホームページ(http://www.epson.jp/)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

液晶プロジェクタ(B) 2013.04

カンタンな質問に答えて

会員登録。